

2010.6.1 「参議院選挙の争点は何？」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。

今日は、私の事務所のインターンシップに来ている学生の広田さんからの質問に私が答える形式にしたいと思います。よろしくお願いいたします。

【広田】 「前回の参議院選挙の後に、先生がお書きになった記事を拝読いたしました。前回の参議院選挙では年金問題が争点となり、また、自民党への政治不信が自民党の敗因であったとありました。今回の参議院選挙では、争点となる問題は枚挙にいとまがありませんが、政治不信という点において、民主党の政治には透明性もなく、当時の自民党への不信の程度を超えていると思います。今度の参議院選挙において、結果を左右する争点は何になるのでしょうか。教えて下さい。」

【西田】 次の参議院選挙自体は、政権選択、つまり内閣総理大臣を決める選挙には基本的にはなりません。しかし、前回の衆議院選挙で政権交代をし、圧倒的多数の議席を衆議院で取り、70%を超える支持率で始まった鳩山内閣は、今はもう見る影もなく、多くの国民は、民主党に騙されたと思っています。民意を問い直すことが、一番大事なのです。ですから、衆議院と参議院を同時に選挙する形になるべきだと思います。それができないとすると、次の参議院選挙は、国民が、民主党政権に対して非常に不満を持っている、つまり、民意がすでに民主党にないことを確認するための選挙だと思います。なぜならば、たとえ参議院選挙で民主党が負けたとしても、衆議院では300議席を持っていますので、政権を手放す必要はなく、民主党は今までと同じように好き勝手ができます。しかし、300議席というのは、一年前の民意として、期待の意として彼らに投票したけれども、今は全くありません。そうすると、彼らが300議席によって法案を強行採決し、政権を持っていることすらおかしいわけです。ですから、そこをしっかりと訴え、争点というよりも、今度の選挙は、国民に、この8ヶ月間の民主党政権の成果について問い直すものなのです。結果は、おそらく全然ダメだったと言うことになるでしょう。それを受けて、もう一度、解散総選挙で政権選択の間違いを正す選挙をやり直す。今度の選挙はそのための一里塚になると思います。

また、もう一つ大事なことは、次の選挙で自民党を代表とするグループ、つまり野党が過半数を参議院選挙で取れば、今回の政治不信の一番の元になっている小沢幹事長を、予算委員会に引きずり出すことができます。そのためにも勝利しなければなりません。さらに、民主党は、支持率が急に低くなってきたため、鳩山総理の首をすげ替え、代表を変えようと言いついています。しかし、これはとんでもない話です。なぜ鳩山総理の人气が下がったのかというと、鳩山総理が国民を混乱させたことに他なりませんし、そもそも政治とカネの問題、普天間基地問題を始めとするデタラメな対応が原因です。この普天間基地問題で鳩山総理は「できれば国外、最低県外移設」と発言しましたが、次の代表になる方は、鳩山総理が出した辺野古以外の案を出せるのでしょうか。鳩山総理はその後「学べば学ぶほど抑止力の重要性

が分かり、沖縄に海兵隊を置かなければならない」という結論に達しています。それと違うことを、彼らが提示できるのかというと、発言できる人は誰もいません。しかも、政治とカネの問題について一番の癌である小沢幹事長に対して、「小沢さん、予算委員会に出て国民にしっかり説明しなさい」と、民主党内で進言した人がいたでしょうか。つまり、鳩山総理の首をすげ替えるということは、選挙対策以外の何物でもなく、自分達に利することだけが目的なのです。それが根本的な問題解決にはならないということを是非有権者の方には知っていただきたいと思います。

ではまた質問して下さい。

【西田・広田】ありがとうございました。